



令和7年度 敦賀南小学校「いじめ防止基本方針」 【ポイントの説明】

~お子さんが安心して過ごせる学校を目指して~

本校の、「いじめ」に対する取り組みについてご説明します。

学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちの笑顔を守りましょう。

敦賀市立敦賀南小学校



基本的な考え方

■ 「心の教育」の重視

自分と他者を**大切**にし、助け合える心を育てます。

■ いじめは絶対に許されない

いじめは「犯罪」となりうる行為です。

児童全員に、いじめの重大さをしっかり理解させます。

■ 家庭・地域と連携

「安心して通える学校」を家庭と一緒に築きます。

必要に応じて、**警察や関係機関との連携**を積極的に進めます。

いじめとは？（学校の定義）

仲間はずれや無視も含みます

言葉による暴力やSNSでの中傷など、目に見えにくいいじめも深刻な問題と捉えています。

心身に苦痛を感じたら「いじめ」

子どもが不快に感じていれば、それはいじめと判断します。原則として、加害側の意図よりも被害児童の気持ちを重視します。

学校内外を問いません

学校外での出来事や、放課後・休日に起きた事案だからといって見逃してはいけません。「いじめ」として認識します。オンライン上の問題も含みます。学校外の事案は、警察や関係機関と連携して対応します。

「ふざけているだけ」「ケンカでは？」と済ませず、子どもの感じ方を最も重視します。



いじめを未然に防ぐ取り組み



思いやりと助け合いの教育

人権教育や体験活動、道徳の授業を通して、互いを尊重する心を育てています。様々な体験を通じて、他者の気持ちを考える力を養います。



楽しい授業で自己肯定感を育む

「わかった!」「できた!」という成功体験を大切にし、児童が自信を持てる授業づくりを心がけています。一人ひとりの良さを認め、伸ばす教育を実践しています。



子ども同士の絆づくり

係活動や委員会活動、学校行事やグループ活動など、協力して取り組む活動を通じて、互いを認め合い、支え合う関係を築きます。

ご家庭でも、お子さんの「いいところ探し」をぜひ一緒にしてください。
「あなたのここが素晴らしい」と伝えることで、自己肯定感が高まります。



早期発見・相談体制



毎月のアンケート・定期面談

定期的な調査で変化を見逃さないようにします。



表情やしぐさの変化を観察

教職員が日常的に子どもの様子を見守ります。



タブレットによる相談(整備中)

言いにくいことも伝えられる環境を整えます。

子どもの変化に気づいたときは、遠慮なく学校へご相談ください。早期対応が重要です。





いじめが起きたときの対応

情報共有と迅速な対応



いじめの情報が入ったら、**すぐに全教職員で情報を共有し、「対応サポート班」が動き始めます。**個人で抱え込まず、チームとして対応します。

事実確認と適切な指導＋関係機関との連携



加害児童には、事実関係をしっかり確認し、行為の重大さを理解させる指導を行います。決して一方的な叱責ではなく、なぜいけないのかを考えさせます。

そして、**いじめの内容によっては、警察や児童相談所など、関係機関と連携して進めます。**

被害児童の保護最優先



まず被害児童の安全を最優先で確保し、心のケアを行います。児童が安心して学校生活を送れるよう、継続的な支援を行います。

継続的な見守りと支援



「謝ったから終わり」ではなく、いじめ行為が完全に止まり、被害児童の心の回復が見られるまで、丁寧に支援を続けます。

組織的な対応

いじめ対策委員会(常設)

校長・教頭・生徒指導主事などで構成された常設の委員会です。年間方針の作成や実施状況の点検、アンケートや面談計画の企画・検討を行います。「居場所づくり」や「絆づくり」の教育活動も推進しています。

定期的に会議を開き、学校全体のいじめ防止対策を協議します。また、教職員の研修も実施しています。

いじめ対応サポート班(事案発生時)

いじめ事案が発生した際に設置される特別チームです。担任・学年主任・養護教諭・スクールカウンセラーなどで構成されます。

迅速な事実確認、関係児童への継続的支援、保護者・地域・専門機関との連携を行います。精神的ケアや学習環境の整備まで総合的に対応します。

学校全体で「チーム」として迅速・確実に対応します。どんな小さなことでも複数の目で見えて判断することで、適切な対応につなげます。

保護者・地域との連携

学校

学校HPや学校情報配信アプリ、お便りを通じて、いじめ防止の取り組みを発信します。今年度は、デジタルシティズンシップ教育を全学年で取り組み、ネットいじめの防止に努めます。

外部機関

教育委員会、児童相談所、警察などの外部機関とも連携し、必要に応じて専門的なサポートを受けられる体制を整えています。今年度は、特に警察との連携を強化します。



家庭

日頃からのお子さんへの声かけ、学校での出来事を話題にすることが大切です。「今日は楽しかった?」「困ったことはなかった?」など、会話を心がけてください。

地域

学校評議員や見守り隊、地域団体との定期的な会合を通じて、学校外での子どもたちの様子も把握できるよう努めています。

子どもに関わる大人の連携を進め、大人みんなで子どもを見守ります。

ご家庭でのサポート



日常の会話

学校での出来事を聞いてあげてください。小さな変化に気づくきっかけになります。



変化の観察

食欲や睡眠、表情の変化などに注意してください。早期発見につながります。



相談連絡

気になることがあれば、すぐに学校へご連絡ください。一緒に解決策を考えます。

子どもたちを守るためには、大人がまず「**いじめのサイン**」に気づくことが大切です。**学校での様子と家庭での様子、両方の情報を共有する**ことで、早期発見・早期対応が可能になります。何か気になることがあれば学校へご連絡ください。



一緒に子どもたちを育て、守りましょう



いじめは、いじめは、子どもの心と命を脅かす重大な問題です。

学校だけで解決できるものではなく、学校・家庭・地域が一体となって未然防止・早期対応に取り組む必要があります。

「学校に任せる」ではなく、「一緒に子どもを育てる・守る」姿勢が何より大事です。

敦賀南小学校は、すべての児童が安心して学び、成長できる場所であり続けるよう、努力してまいります。